

【授業科目】 老年看護学特論 I (老年看護学の専門性) Advanced Gerontological Nursing I

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
三好 陽子	1年次前期	選択	2	30	講義	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	<p>国際的な視点に立って高齢化の現状を分析し、今後の課題や求められる老年看護の専門性を探究する。また、老化・加齢に関する理論や、保健医療福祉制度、高齢者の日常生活への影響、家族看護や倫理的課題などについて理解を深め対象者の特性を探究するとともに、高齢者看護を専門として活動していくための理論的基盤を養う。形式は講義を主とするが、学生のプレゼンテーションを取り入れ、主要なテーマについてレポート課題を提示する。授業は、実務家教員(三好)が進める。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。</p>					
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	<p>①老年看護学の変遷と、高齢社会の現状について説明できる。</p> <p>②老化・加齢に関する理論の特徴について説明できる。</p> <p>③高齢者を取り巻く保健医療福祉制度と倫理的課題について説明できる。</p> <p>④高齢者のニーズと生活における特徴について説明できる。</p> <p>⑤高齢者と家族に必要な看護について考え、高齢者看護の専門性について自己の見解を述べるができる。</p>					
時間外学習 に必要な 内容・時間	<p>紹介した文献や配布資料は、よく読んで、授業内容の理解や授業での意見交換に生かす(2時間)。 課題に関しては、自らも文献検索・検討を行いプレゼンテーションやレポート作成に生かす(2時間)。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合:予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合:予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合:予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年看護学の変遷 2. 国際的な高齢社会の現状と展望:高齢化の動向、諸外国における取り組み 3. 老化・加齢の理論(1):生物学的・心理学的・社会学的理論 4. 老化・加齢の理論(2):エイジング、コーピング、適応理論など 5. 高齢者の睡眠とサーカディアンリズムの変化 6. 高齢者にとっての生活環境の変化:relocation 7. 高齢者の栄養と嚥下障害:栄養状態の評価、嚥下リハビリテーション 8. 高齢者の排泄障害:排泄状態の評価、排泄の自立に向けてのアプローチ 9. 高齢者保健医療福祉制度の変遷・現状 10. 高齢者と介護負担 11. 高齢者を取り巻くサポートシステム、ソーシャル・キャピタル 12. 高齢者看護における倫理的課題:エイジズム、高齢者虐待 13. 高齢者のニーズ:役割、自尊心、統合 14. 高齢者のQOL 15. まとめ 					全て 三好
評価方法 評価基準	課題に対するプレゼンテーション(30%)、レポート(70%)などによって総合的に評価する。					
教科書	なし		参考書等	配付資料 参考文献についてはその都度提示する。		